

2026 益城町下水道マンホールふたデザイン 一般の部 最優秀賞受賞作品 「虹色の未来ロード」



arigato MASHIKI
KUMAMOTO



- ◆ 震災からの復興を経て四車線化した新しい道を「未来の道」と捉え、地域の安全、災害に強いまちづくり、そして未来への発展という願いを表現しました。
- ◆ 益城町復興まちづくりセンター『にじいろ』の由来は、雨の後に虹が架かるように、2016年熊本地震からの復興への希望という想いが込められていることから、「未来の道」が虹のように、七色の色鮮やかな可能性を放ち、希望に満ちた未来を表現しました。

デザインコンテスト 一般の部 優秀賞受賞作品



arigato MASHIKI
KUMAMOTO



- ◆熊本地震から10年。たくさんの人の支えや助け合いによって益城町は少しずつ進んできました。
- ◆まず、中央の握手は「人とのつながり」や「支え合い」の気持ちを込め、ハートの中には、これからも続いていく益城の街並みと、輝く未来へ続く道を描いています。
- ◆空を飛ぶ飛行機は、町内に空港を保有する益城らしさを表すとともに、「未来へ羽ばたく町になってほしい」という願いを込めて描きました。
- ◆周囲の桜は、桜の名所である秋津川河川公園をイメージし、「復興」と「新たな始まり」の意味も込めています。
- ◆また、特産のすいかを取り入れています。20～30年後も「このまちで」友人たちと楽しく過ごし、町外へ出た子どもたちも「帰ってきたい」と思えるような未来につながる町になってほしいという願いを込めました。

デザインコンテスト 一般の部 優秀賞受賞作品



arigato MASHIKI
KUMAMOTO



- ◆復興を遂げた熊本城が燦々と輝き、稲穂が繁る緑豊かな町、そして川の流れは、命が繋がれていく継続や循環を表しています。
- ◆新しい未来を感じる力を表現しました。